

変額保険

グローバルミックス

特別勘定の月次運用レポート

2020 年 9 月度

<目次>

1. 運用環境の主な状況	1 ページ
2. 特別勘定の運用方針/運用状況	2 ページ
3. [参考情報]投資信託の運用実績・状況	3-7 ページ
4. 当保険商品の注意事項	8 ページ

[引受保険会社]



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-568-093

平日 9:00~18:00 / 土 9:00~17:00

(日・祝日、12月30日~1月4日を除く)

<https://www.axa.co.jp/>

- 当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしていません。
- 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
- アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクについては本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品の詳細については、「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

運用環境の主な状況

(2020年9月末現在)

■ 日本株式市場

TOPIX(東証株価指数)は上昇し、前月末比+0.45%の1,625.49ポイントで終わりました。月前半は、東京都の新型コロナウイルス感染状況の警戒レベルが引き下げられ経済正常化への期待が高まったことなどを受け上昇しました。月後半は、中国の景気指標の改善などをを受け上昇する場面もありましたが、月末は、米大統領候補討論会で、増税などを掲げるバイデン前副大統領が優勢だったとの評価が広がったことなどを背景として下落しました。前月末比では日本株式市場は上昇しました。

日本の小型株式市場は概ね上昇しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は下落し、NYダウ工業株30種は前月末比-2.28%の27,781.70ドルで終わりました。月前半は上昇して始まりましたが、その後は大型ハイテク株を中心に売りが広がったことなどにより下落基調で推移しました。月後半も、ハイテク株への売りが続いたほか、ワクチンの早期実用化期待の後退や米追加経済対策の協議膠着などを受けて下落基調で推移しました。月末には米追加経済対策の協議の合意への期待感などから下落幅を縮小しました。

欧州株式市場は、前月末比、独DAX指数-1.43%、仏CAC40指数-2.91%となりました。月前半は、各国中央銀行の追加金融緩和への期待や中国の輸出の伸びが高まったことなどを背景に上昇基調で推移しました。月後半は、欧州で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、一部の国で行動制限再強化の動きが強まったことなどをを受けて下落しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場も下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は低下(価格は上昇)し、月末には0.016%となりました(前月末0.051%)。月前半は、リスク回避の動きや国債需給を巡る懸念が一旦後退したとの見方などから金利は低下しました。月後半は、国債の増発懸念などを背景に国債需給の緩みが意識されたことなどから下げ幅を縮小し、おおむね横ばいで推移しました。前月末比では、金利は低下しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は低下(価格は上昇)し、月末には0.684%となりました(前月末0.705%)。月前半は、FRB(連邦準備制度理事会)高官が追加金融緩和の可能性を示唆したことなどから金利は低下して始まりましたが、米雇用統計における失業率改善などにより金利は低下幅を縮小しました。月後半は、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大や米追加経済対策の不透明感などから金利は低下基調で推移しましたが、月末には米追加経済対策の成立への期待感などから金利は低下幅を縮小しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場では独10年国債の金利は低下し、月末には-0.522%となりました(前月末-0.397%)。月前半は、追加金融緩和への期待感やFTA(自由貿易協定)を巡る英国とEU(欧州連合)の交渉の難航などを受けて金利は低下しました。月後半も、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大などを受けて金利は低下基調で推移しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は円安米ドル高となり、月末は前月末比+0.44円の105.80円となりました。月前半は、ISM(米供給管理協会)製造業景況指数の改善や米雇用統計の改善などを受けて円安米ドル高基調で推移しました。月後半は、FRBの金融緩和の長期化観測や米追加経済対策の協議膠着などを背景に円高米ドル安基調で推移しました。前月末比では米ドル/円相場は円安米ドル高となりました。

ユーロ/円相場は円高ユーロ安となり、月末は前月末比-1.30円の124.17円となりました。月前半は、円安ユーロ高で始まりましたが、その後はECB(欧州中央銀行)高官がユーロ高への懸念を示唆したことなどを背景に円高ユーロ安基調で推移しました。月後半は、欧州で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、一部の国で行動制限再強化の動きが強まったことなどをを受けて円高ユーロ安傾向で推移しました。

特別勘定の運用方針/運用状況

(2020年9月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

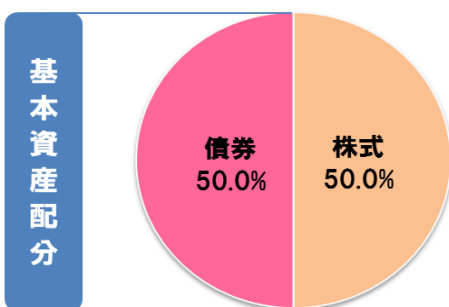
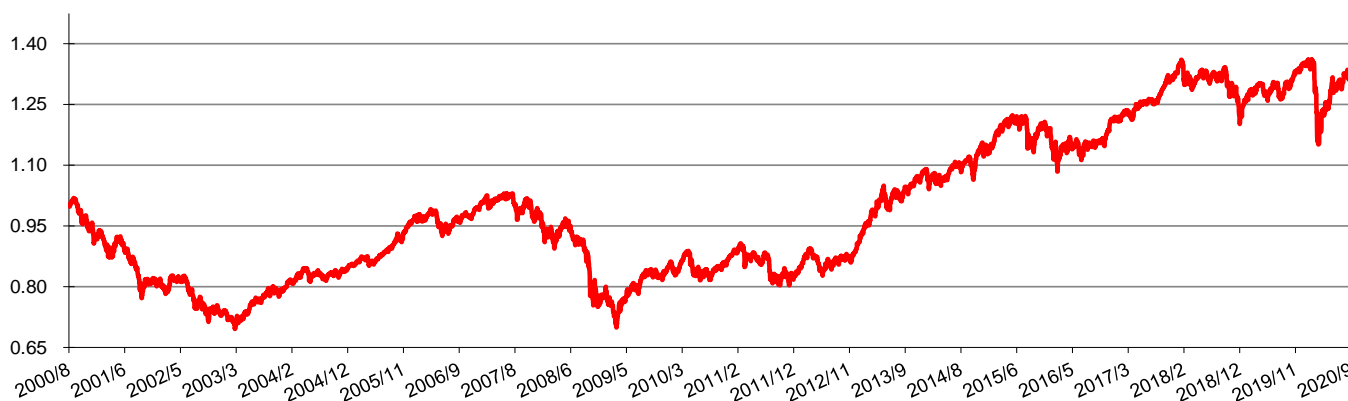
日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。(特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM&特別勘定運用部が行います。)

■ 利用する投資信託

委託会社...アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
 投資信託...アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・日本バリューストックファンド(B)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

■ 特別勘定のINDEXの推移

※特別勘定のINDEXは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



INDEX	騰落率(%)					
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2020年9月末						
1.317	△ 0.84	2.14	8.59	1.22	2.82	31.69

※特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。
 ※騰落率は、当月末における、上記各期間のINDEXの変動率を表しています。

■ 特別勘定資産の内訳 千円単位

銘柄		金額	%	参照頁
現預金・その他		2,032,688	4.4	—
株式	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	4,621,359	10.1	P.3
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリューストックファンド(B)〈適格機関投資家私募〉	6,865,062	14.9	P.4
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	7,295,724	15.9	P.5
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	4,501,749	9.8	P.6
債券	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉	20,632,604	44.9	P.7
合計		45,949,188	100.0	—

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2020年9月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

■ 純資産総額

47 億円

■ 設定日

2000年8月3日

■ ベンチマーク

東証株価指数 (TOPIX)

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

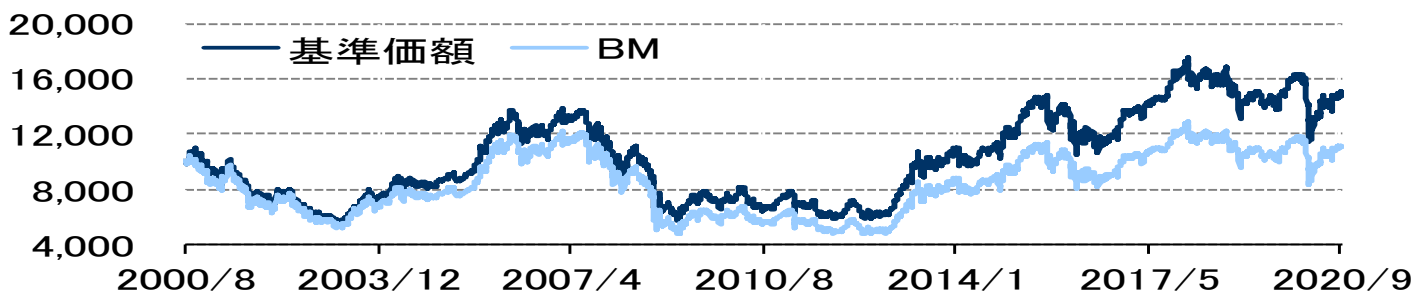
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.61	4.26	14.63	△ 0.40	△ 3.32	47.97
BM	0.45	4.28	15.85	2.37	△ 2.94	9.64
差異	0.15	△ 0.02	△ 1.22	△ 2.78	△ 0.38	38.33

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数 : 303

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.10
2	任天堂	その他製品	2.23
3	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.18
4	ソニー	電気機器	1.94
5	キーエンス	電気機器	1.65
6	本田技研工業	輸送用機器	1.54
7	アステラス製薬	医薬品	1.38
8	中外製薬	医薬品	1.33
9	NTTドコモ	情報・通信業	1.21
10	日東電工	化学	1.17

■ 株式組入上位5業種 (%)

1	電気機器	14.49
2	情報・通信業	9.49
3	医薬品	9.16
4	小売業	7.33
5	化学	6.86

■ 市場別構成比率 (%)

東京証券取引所第一部	98.05
現金等	1.95

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2020年9月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ **投資信託の特徴**

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

■ **純資産総額**

93 億円

■ **設定日**

2000年12月21日

■ **ベンチマーク**

東証株価指数 (TOPIX)

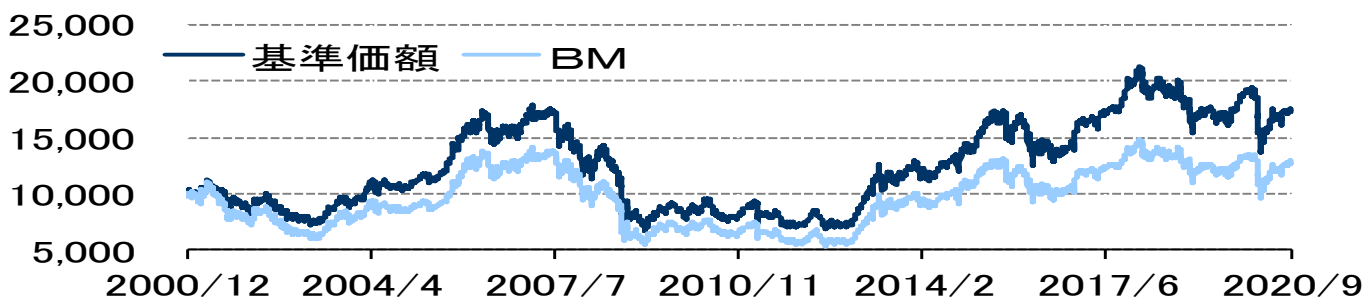
■ **基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率** 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.24	3.12	12.95	△ 0.28	△ 5.88	73.30
BM	0.45	4.28	15.85	2.37	△ 2.94	26.07
差異	△ 0.21	△ 1.16	△ 2.90	△ 2.65	△ 2.94	47.23

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
 ※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ **基準価額の推移**

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ **株式組入上位10銘柄**

銘柄数 : 205

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	2.67
2	NTTドコモ	情報・通信業	2.51
3	任天堂	その他製品	2.49
4	ソニー	電気機器	2.45
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.24
6	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.21
7	伊藤忠商事	卸売業	1.85
8	本田技研工業	輸送用機器	1.80
9	日本電信電話	情報・通信業	1.80
10	KDDI	情報・通信業	1.74

■ **株式組入上位5業種(%)**

1	電気機器	16.14
2	情報・通信業	13.95
3	医薬品	10.78
4	小売業	7.03
5	化学	6.07

■ **市場別構成比率(%)**

東京証券取引所第一部	95.15
ジャスダック証券取引所	1.05
その他の市場	0.71
東京証券取引所第二部	0.68
現金等	2.42

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
 ※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

73 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

S&P500種株価指数

(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

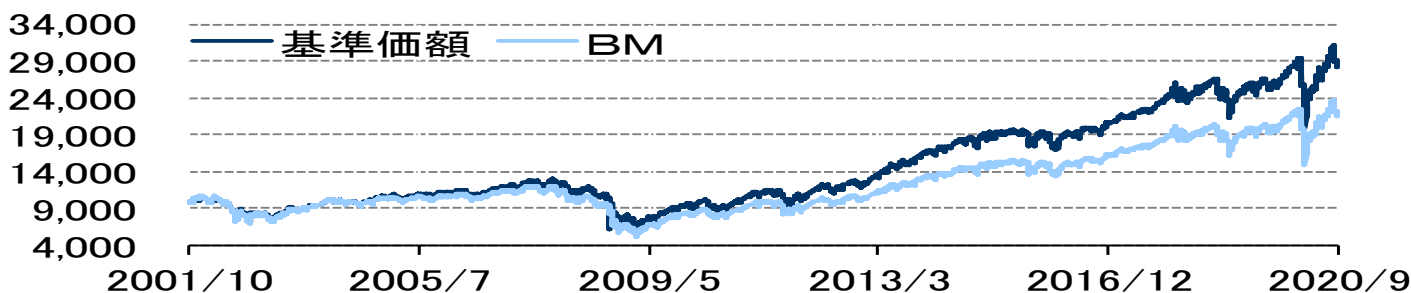
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 4.98	8.72	26.30	11.99	27.43	190.46
BM	△ 4.96	9.11	26.53	10.94	24.34	121.39
差異	△ 0.02	△ 0.38	△ 0.23	1.04	3.09	69.07

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ社に帰属しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：221

	銘柄	国名	業種	%
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	6.49
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.58
3	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	4.70
4	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	3.09
5	FACEBOOK INC.	アメリカ	メディア・娯楽	2.17
6	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.30
7	ORACLE CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.25
8	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.15
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.12
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC.	アメリカ	各種金融	1.09

■ 株式組入上位5業種 (%)

1	ソフトウェア・サービス	16.31
2	テクノロジー・ハードウェア	9.60
3	小売	9.50
4	メディア・娯楽	8.84
5	医薬品・バイオテクノ・ライフ	8.33

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
 ※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

45 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

MSCI欧州株価指数

(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

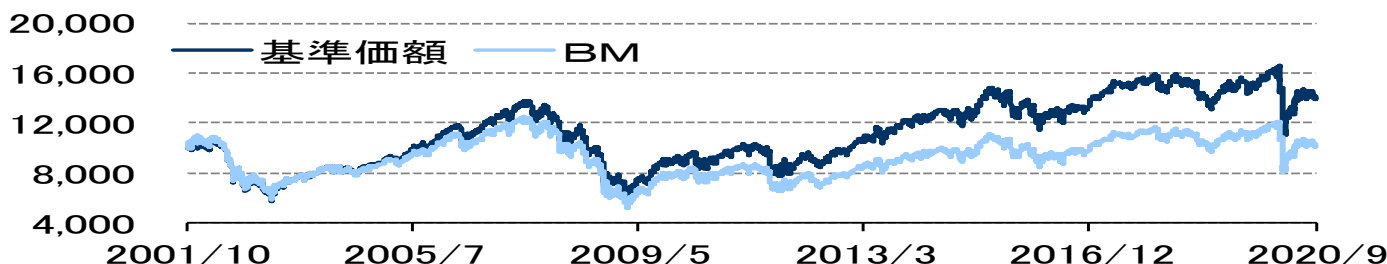
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 1.71	△ 0.05	14.79	△ 7.73	△ 7.96	40.76
BM	△ 1.19	0.12	14.12	△ 8.81	△ 7.54	2.71
差異	△ 0.52	△ 0.17	0.67	1.09	△ 0.42	38.05

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：201

	銘柄	国名	業種	%
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	3.78
2	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	3.14
3	SAP SE	ドイツ	ソフトウェア・サービス	2.12
4	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.06
5	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	1.98
6	UNILEVER NV	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	1.84
7	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	1.84
8	UNILEVER PLC	イギリス	家庭用品・パーソナル用品	1.65
9	SCHNEIDER ELECTRIC SE	フランス	資本財	1.63
10	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.63

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	イギリス	17.18
2	フランス	16.67
3	ドイツ	14.62
4	スイス	14.46
5	オランダ	9.46

■ 株式組入上位5業種(%)

1	資本財	14.84
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	13.09
3	食品・飲料・タバコ	7.61
4	素材	7.07
5	保険	5.82

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5カ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
 ※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

207 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・パークレイズ・日本総合(3-7年)
インデックス

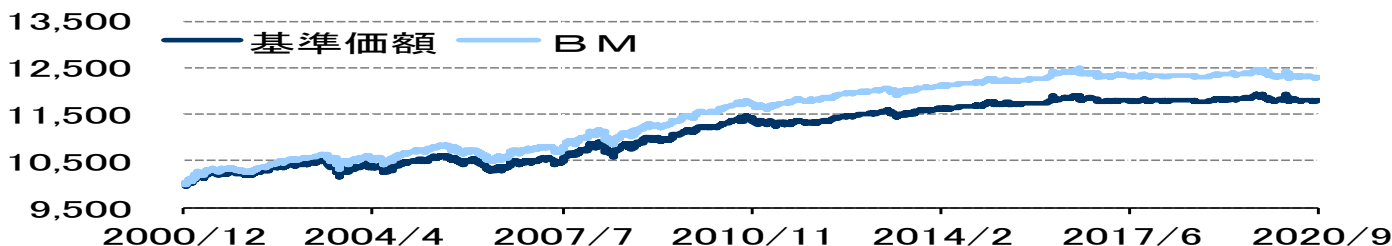
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.19	0.06	△ 0.01	△ 0.83	0.12	18.01
BM	0.17	0.03	△ 0.05	△ 1.18	△ 0.04	23.03
差異	0.02	0.03	0.04	0.35	0.16	△ 5.02

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りと異なります。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	第3回BPCE債	フランス	-	A-	8.79
2	第142回利付国債(5年)	日本	A1	A+	6.25
3	第52回地方公共団体金融機構債券	日本	A1	A+	4.53
4	第13回シティグループ・インク円貨社債	アメリカ	A3	BBB+	4.52
5	第357回利付国債(10年)	日本	A1	A+	4.47
6	第143回利付国債(5年)	日本	A1	A+	4.47

■ 格付別構成比率(%)

AAA	0.00
AA	5.03
A	86.15
BBB	8.82
BB以下(無格付含)	0.00

■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	0.52%
平均利回り	0.28%

■ 債券種別構成比率(%)

国債	21.67
地方債	1.54
特殊債・財投債	19.63
金融債	0.00
社債等	54.67
その他	0.00
短期資産等	2.49

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。
※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付を採用します。
※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

注意事項



変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。



変額保険のリスクについて

①市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。